

令和8年度の新たな取組 ①

資料3

技-1グランプリ ～埼玉“高技専”まつり～

名称について

わざ

技-1グランプリ ～埼玉“高技専”まつり～

【名称に込めた思い】

- 日ごろの訓練で培われた「技術・技能」＝「技」を披露する競技会がイベントの中心であることを分かりやすく表現したい
- メインターゲットである中高生が覚えやすく、親しみやすく、定着するような名称にしたい（例：M-1グランプリ）
- 予選を勝ち抜いた訓練生（ファイナリスト）が成果を発表するのにふさわしい名称としたい

開催概要

- 開催日 令和8年11月23日（月・祝）
- 会場 県民活動総合センター（伊奈町）
- 参加者 全訓練生 約400人
- 来場者 2,000人以上（県内企業、高校生や中学生等、学校教員、保護者等）
- 競技内容
 - ・「こまコンテスト」「バーチャル溶接チャレンジ」など全8種目を実施（競技名は検討中）
 - ・競技後、審査員等による評価を行い、優勝者を決定。優勝者には知事賞を贈呈
 - ・予選は各高技専で実施。勝ち抜いた訓練生が決勝に進出

【併設するブース等】

（8種類程度）

- 「ものづくり体験コーナー」
⇒ 楽しみながら技能の魅力を感じてもらう
 - 「高技専紹介ブース」
⇒ 訓練生との交流や各校の訓練内容の体験や魅力を紹介（8団体20社程度）
 - 「業界（企業）紹介ブース」
⇒ 業界団体などの協賛を得て、企業紹介ブース等を設置
- ※スタンプラリーや来場者プレゼントの実施、キッチンカー出店など来場者が楽しめる工夫を検討

令和8年度の新たな取組 ②

技能検定受検料支援

令和7年度に支援を始めた技能検定3級に加え2級まで支援を拡大し、35歳未満の「若手ものづくり人材」の確保・育成のさらなる促進を図る。

※技能検定：働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度。機械加工、建築大工など133職種があり、合格者は「技能士」と名乗ることができる。

※2級技能士：高度な技能を有する人材として、業界の基盤を支える重要な存在である。

支援内容

《令和7年度》	《令和8年度～》
■ 技能検定2級受検料	■ 35歳未満の2級受検料
実技 18,200円 学科 3,100円 計 21,300円	実技 9,200円 学科 3,100円 計 12,300円(△9,000円)

高等技術専門校の在り方検討

企業が求める人材ニーズ等の調査・分析、高等技術専門校における今後の施策の提案を業務委託。

主な実施内容

企業アンケート	人材ニーズ等の調査・分析（3,000社）
今後の施策の提案	訓練科の見直し、効果的な広報手法等の提案